

**製品名: FOXP1 (18T18) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11111**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	75kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FOXP1
別名	FOXP 1; Glutamine rich factor 1; hFKH1B; HSPC215; QRF1;
遺伝子 ID	27086.0
SwissProt ID	Q9H334
免疫原	ヒト FOXP1 の合成ペプチド

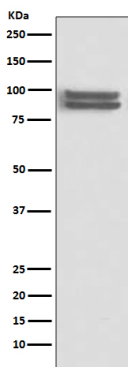
**背景**

転写抑制因子。肺上皮の分化と分化に重要な役割を果たします。CTBP1 と相乗的に転写を抑制するために作用しますが、CTBP1 は必須ではありません。B 細胞発達の必須の転写制御因子。転写抑制因子 (PubMed:18347093、PubMed:26647308)。CTBP1 と相乗的に転写を抑制するために作用しますが、CTBP1 は必須ではありません (類似性による)。肺上皮の分化と分化に重要な役割を果たします。FOXP4 と協調して作用し、杯細胞系譜プログラムを制限することで肺分泌上皮細胞の運命と再生を制御します。この機能には AGR2 の制御が関与している可能性があります。B 細胞発達の必須の転写制御因子。心筋細胞増殖の制御に関与しています。脊髄運動ニューロンの柱状組織化に関与しています。側方運動ニューロン柱 (LMC) と節前運動ニューロン柱 (PGC) の形成を促進し、それぞれの適切な運動軸索投射に必要である。脊髄運動ニューロン柱の適切な体節形成には、他の Hox タンパク質との協力が必要である。PITX3 プロモーター活性を調節することができ、PITX3 を調節することにより、胚性幹細胞由来ドーパミンニューロンにおける中脳のアイデンティティを促進する可能性がある。T 濾胞ヘルパー細胞 T(FH)の分化を負に調節する。毛包幹細胞の静止状態の維持に関与しており、その機能はおそらく FGF18 の調節に関与している (類似性による)。さまざまなアポトーシス促進遺伝子の転写を抑制し、NF- $\kappa$ B シグナリングと協力し、カスパーゼ依存性アポトーシスを阻害することで B 細胞の増殖を促進する (PubMed:25267198)。CSF1R プロモーターエレメントに結合し、単球分化およびマクロファージ機能の調節に関与する。単球における CSF1R の抑制には、コリプレッサーとして NCOR2 が関与していると考えられる (PubMed:15286807、PubMed:18799727、PubMed:18347093)。血管新生における役割を示唆する内皮細胞の増殖、管腔形成、および遊走に関与する。新生血管形成における役割は、SEMA5B の抑制に関与していると考えられる (PubMed:24023716)。アンドロゲン受容体シグナル伝達を負に制御することができる (PubMed:18640093)。FBXL7 プロモーターの転写活性化因子として作用し、この活性は AURKA によって制御される (PubMed:28218735)。

## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

## 画像データ



Daudi 細胞溶解物中の FOXP1 発現のウェスタン ブロット分析。